

Poster-10

2019-2018

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka



羽 黒 山



5尺9寸
5百

ごあいさつ

秋山 孝

秋山孝ポスター美術館長岡・館長
多摩美術大学教授

秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) は、2019年7月9日で創立10周年を迎える。新作ポスター集「Takashi Akiyama Poster-10」を発行することができた。

2018年度は記念すべき賞を受賞した。それは世界的に有名な Graphis が主催する国際ポスターコンペティションの最高賞であるプラチナ賞だ。Graphis は1951年にスイスのジュネーブで出版されたグラフィックデザインの雑誌から始まり、現在はニューヨークのマンハッタンに移り、さらに国際色豊かなグラフィックデザインの出版社となりコンクールを主催している。この賞を獲得できたことは、ばく自身のポスター制作におけるエポックメイキングとなった。受賞した作品は多摩美術大学博士課程2017の展覧会告知ポスターだ。そのデザインは「馬の体内の骨も描き本質的な意味を表し、知識の問題を乗り越えることをイメージした」ものだ。さらに、2018年度の代表的な作品として3点のポスターが挙げられる。

一つ目は「多摩美術大学博士課程展2019」だ。多摩美術大学博士課程展は今年で16回目を迎えた。美術・デザインにおける創作と理論の両面において高度の素質を備えた人材の養成を目的としている。今年は6名が博士となった。会期は2019年3月6日(水)～23日(土)であり、多摩美術大学美術館で開催された。美術大学の特徴を活かして博士課程は論文と作品で審査され、理論と実技の教員で構成されている。ポスターデザインは、美術の極みを発見する研究と創作の真髄を表すよう考えた。少々破廉恥な感じはするが本質というものはそのようなことから生まれ出てくる。「俺の腕を見よ!それが才能だ。」天才たちは才能と限りのない努力から生まれる。対となる2点のポスターを制作した。

二つ目は「日本ブックデザイン賞2018作品展」だ。全国から集まった応募総数418点から受賞および入選作品が決まり、秋山孝ポスター美術館長岡および蔵で展示を行い、授賞式を開催した。今年のグランプリは、課題図書である魯迅『阿Q正伝』の文庫判ブックジャケットをデザインした尾道市立大学の学生が受賞した。学生が大賞を受賞するのは今回が初めてであった。本の魅力と価値を理解してもらうためには、美しいデザインが重要である。それを促すために毎年、日本ブックデザイン賞を開催している。ポスターのデザインは、日本ブックデザイン賞の継続の意義と価値を本を積み重ねることにより象徴化した。それはばくたち主催者の勲章でもある。

三つ目は「水と土の芸術祭2018『地震ポスター展』」だ。新潟地震が発生した時、我が家のトラックで「水」を容器に入れて運ぼうとする父親の姿を鮮明に記憶している。それは1964年6月16日の新潟地震(M7.5)の記憶でばくが12歳の時だった。そして2004年10月23日夕方6時前に食事をしている際、新潟県中越地震(M7)が発生した。それらが藝術を使い記録する「多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクト」の始まりで、今年で15年目になった。この間、シンポジウムを開催したり国内外で展覧会などをする事により、その意義と地震、災害などを深く研究することになった。今回の「水と土の芸術祭」では新たな展開が期待できる。それは「水と土」という命題から導き出された魅力的な「藝術と生活」を中之口先人館で共存できるからだ。

これらは2018年度に行われた代表的な展覧会のポスターだ。ポスターの魅力は、これからの時代を芸術性を持つ表現で記録することにある。



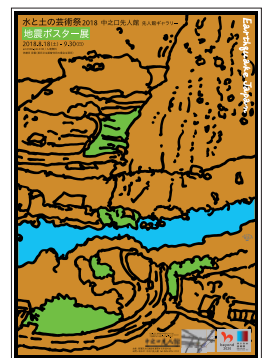
多摩美術大学博士課程展 2017



多摩美術大学博士課程展 2019



日本ブックデザイン賞 2018 作品展



水と土の芸術祭 2018「地震ポスター展」

(2019.04.01)



[Title] 多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ修了制作展 2019
 [Size] 1030 × 728 mm (B1)
 [Technique] Offset printing
 [Date] 2018
 [Client] 多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ
 [Category] Education
 [Idea] 出航の喜びと高揚感を旗のようなグリッドで表した。

[Comment] ----- 多摩美術大学大学院イラストレーション研究グループの修了生が出たのが2000年からで、それ以降イラストレーション研究グループは表現（作品）と研究の両輪を目的に進んできた。やっと大学院における研究のありようが整ってきたように思う。今回の修了制作展は15回目となり、2月28日（木）～6日（水）まで南青山にあるギャラリー 5610 で開催した。多摩美術大学大学院イラストレーション研究グループは本年度、博士後期・前期学位取得者10名を出すことになった。これまで23回にわたって学外で研究の成果を発表してきた。ポスターデザインは、夢多き希望に満ちた出航の喜びをカラフルな色彩で表現した。



[Title] 多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ修了制作展 2019
 [Size] 1030 × 728 mm (B1)
 [Technique] Offset printing
 [Date] 2018
 [Client] 多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ
 [Category] Education
 [Idea] 嵐の航海は厳しきや孤独感乗り越える力を与える。

[Comment] 多摩美術大学大学院イラストレーション研究グループの修了生が出たのが2000年からで、それ以降イラストレーション研究グループは表現(作品)と研究の両輪を目的に進んできた。やっと大学院における研究のありようが整ってきたように思う。今回の修了制作展は15回目となり、2月28日(木)～6日(水)まで南青山にあるギャラリー 5610で開催した。多摩美術大学大学院イラストレーション研究グループは本年度、博士後期・前期学位取得者10名を出すこととなった。これまで23回にわたって学外で研究の成果を発表してきた。ポスターデザインは、旅立ちはいつも快晴とは限らず、嵐の航海が待っている。それを乗り越えた人だけに分かる喜びがある。



[Title] 多摩美術大学博士課程展 2019
 [Size] 1030 × 728 mm (B1)
 [Technique] Offset printing
 [Date] 2018
 [Client] 多摩美術大学
 [Category] Education
 [Idea] 「俺の腕を見よ!それが才能だ。」

[Comment] ----- 多摩美術大学博士課程展は今年で16回目を迎えた。美術・デザインにおける創作と理論の両面において高度の素質を備えた人材の養成を目的としている。今年は6名が博士となった。会期は2019年3月6日(水)～23日(土)まで多摩美術大学美術館で開催された。美術大学の特徴を活かして博士課程は論文と作品で審査され、理論と実技の教員で構成されている。ポスターデザインは、美術の極みを発見する研究と創作の真髄を表すよう考えた。少々破廉恥な感じはするが本質というものはそのようなことから生まれ出てる。「俺の腕を見よ!それが才能だ。」天才たちは才能と限りのない努力から生まれる。対となる2点のポスターを制作した。



[Title] 多摩美術大学博士課程展 2019
 [Size] 1030 × 728 mm (B1)
 [Technique] Offset printing
 [Date] 2018
 [Client] 多摩美術大学
 [Category] Education
 [Idea] 「俺の腕を見よ!それが才能だ。」

[Comment] ----- 多摩美術大学博士課程展は今年で16回目を迎えた。美術・デザインにおける創作と理論の両面において高度の素質を備えた人材の養成を目的としている。今年は6名が博士となった。会期は2019年3月6日(水)～23日(土)まで多摩美術大学美術館で開催された。美術大学の特徴を活かして博士課程は論文と作品で審査され、理論と実技の教員で構成されている。ポスターデザインは、美術の極みを発見する研究と創作の真髄を表すよう考えた。少々破廉恥な感じはするが本質というものはそのようなことから生まれ出ている。「俺の腕を見よ!それが才能だ。」天才たちは才能と限りのない努力から生まれる。対となる2点のポスターを制作した。

Tama Art University Illustration Studies

10. Message Illustration Poster in Nagaoka

2018.11.03 sat - 11.25 sun

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka



[Title] 10. Message Illustration Poster in Nagaoka
[Size] 1030 × 728 mm (B1)
[Technique] Offset printing
[Date] 2018
[Client] 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)
[Category] Education
[Idea] 創作表現には強固な忍耐力とエネルギーが必要だ。

[Comment] 多摩美術大学大学院のグループ、メッセージイラストレーションポスター展委員会が主体となり、2018年11月3日～25日の間「第10回メッセージイラストレーションポスター展 in 長岡」を開催した。この10年間、継続して展示を行ってきた。美術館で発表することは、未来のデザイナーにとって必要不可欠な経験だ。大学院生が主体となる展示は自主性の意思の強さの表れだと思っている。ポスターデザインは、石川五右衛門の釜茹での刑をモチーフとした。創作者は忍耐強さとたくましいエネルギーが必要だということをユーモアを込めてデザインした。色彩は、オフセットの4色インクによる印刷表現を生かし、釜を彷彿とさせる銀色の線に見えるように表現した。

The Japan Book Design Award
2018

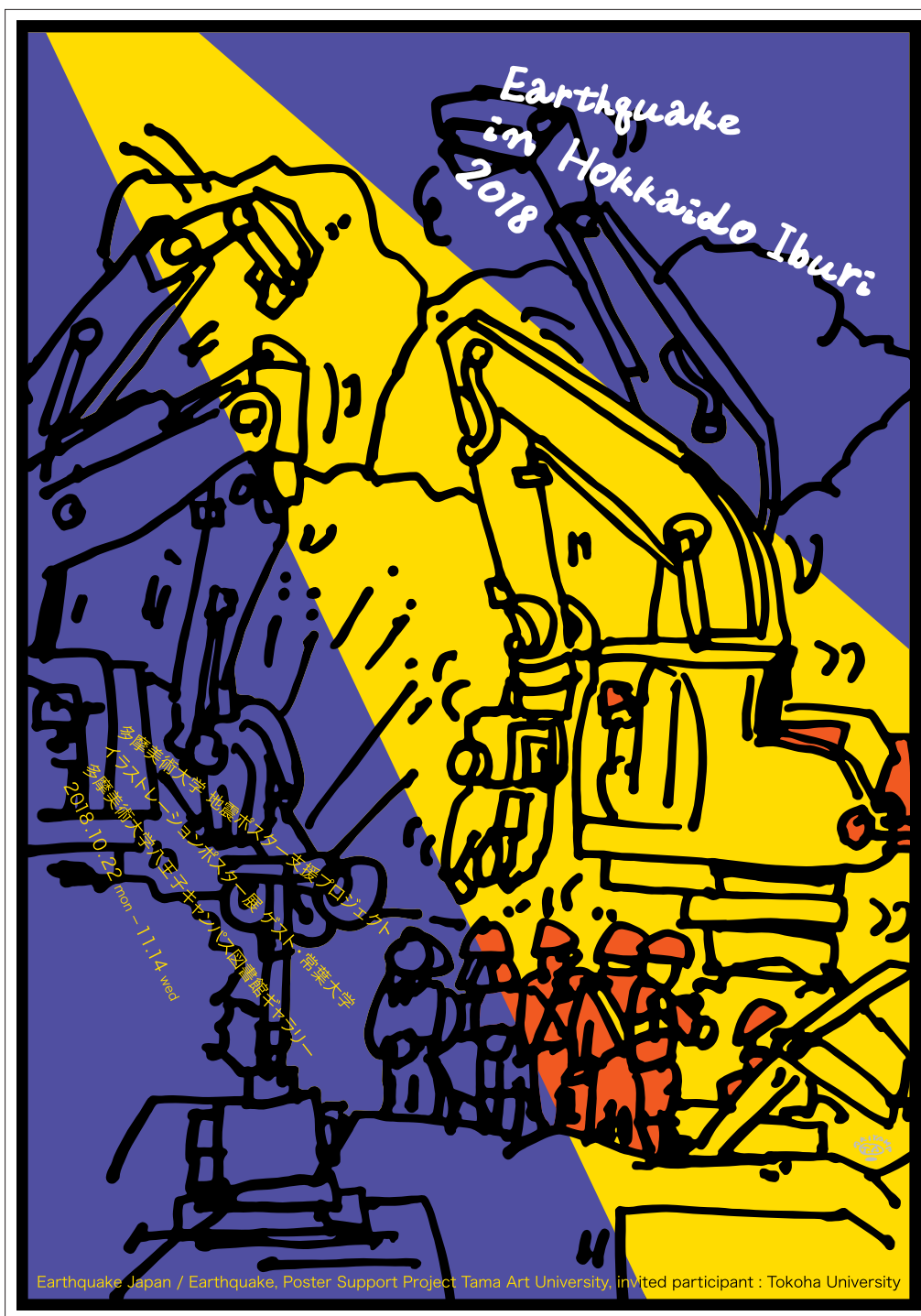
日本ブックデザイン賞2018

日本ブックデザイン賞2018
作品展 10/6(土) - 10/28(日)
授賞式 10/13(土)
主催：秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)
www.apm-nagaoka.com/bookdesign/
協賛：北越コーポレーション

秋山孝ポスター美術館
Nagaoka

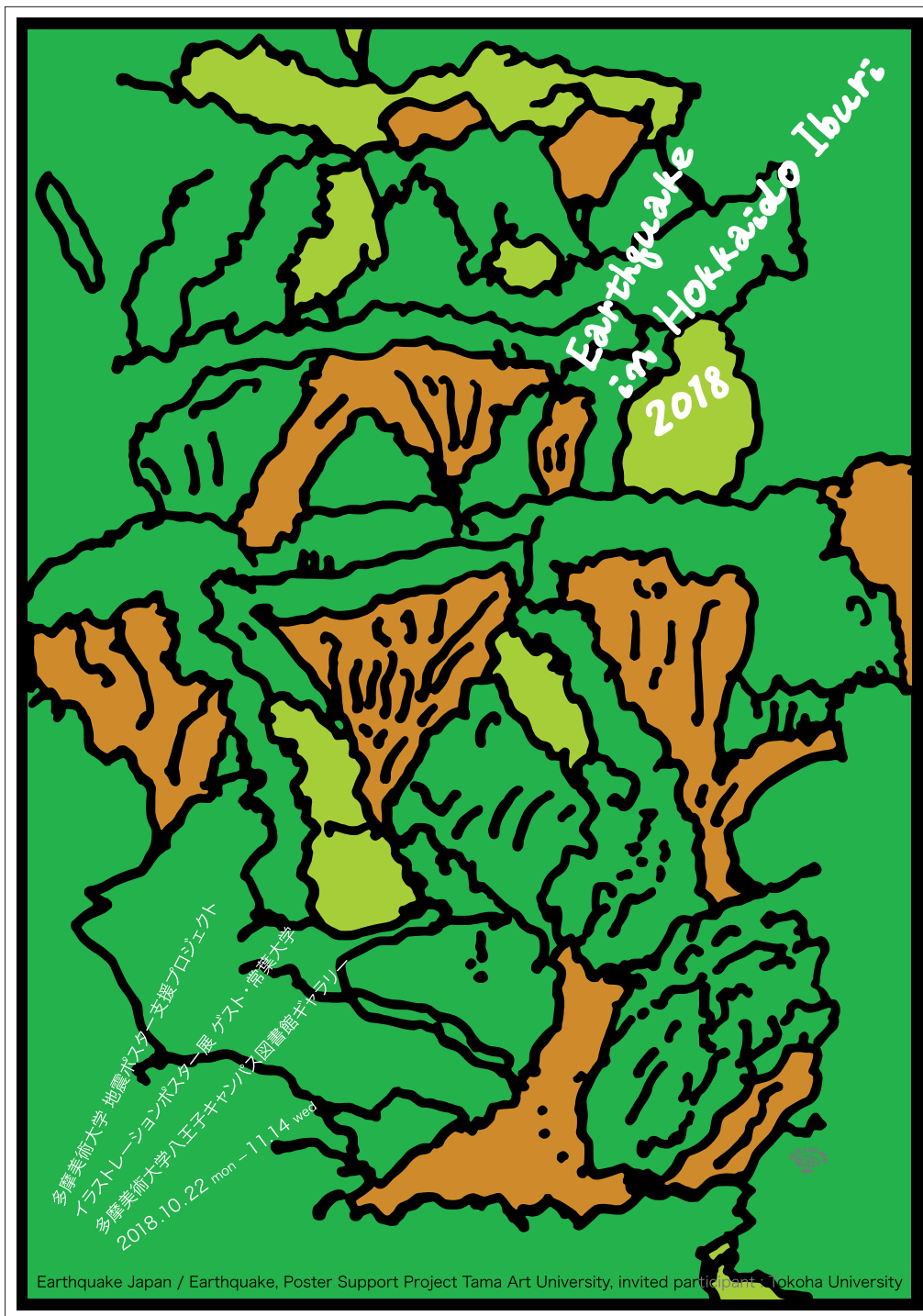
[Title] ----- 日本ブックデザイン賞 2018 作品展
[Size] ----- 1030 × 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2018
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)
[Category] ----- Culture
[Idea] ----- 本は知の森であり、ポスターは美の森である。

[Comment] ----- 第4回日本ブックデザイン賞2018作品展の告知ポスターだ。全国から集まった応募総数418点から受賞および入選作品が決まり、秋山孝ポスター美術館長岡および蔵で展示を行い、授賞式を開催した。今年のグランプリは、課題図書である鲁迅『阿Q正伝』の文庫判ブックジャケットをデザインした尾道市立大学の学生が受賞した。学生が大賞を受賞するのは今回が初めてであった。本の魅力と価値を理解してもらうために、美しいデザインが重要である。それを促すために毎年、日本ブックデザイン賞を開催している。ポスターのデザインは、日本ブックデザイン賞の継続の意義と価値を本を積み重ねることにより象徴化した。それはぼくたち主催者の勲章でもある。



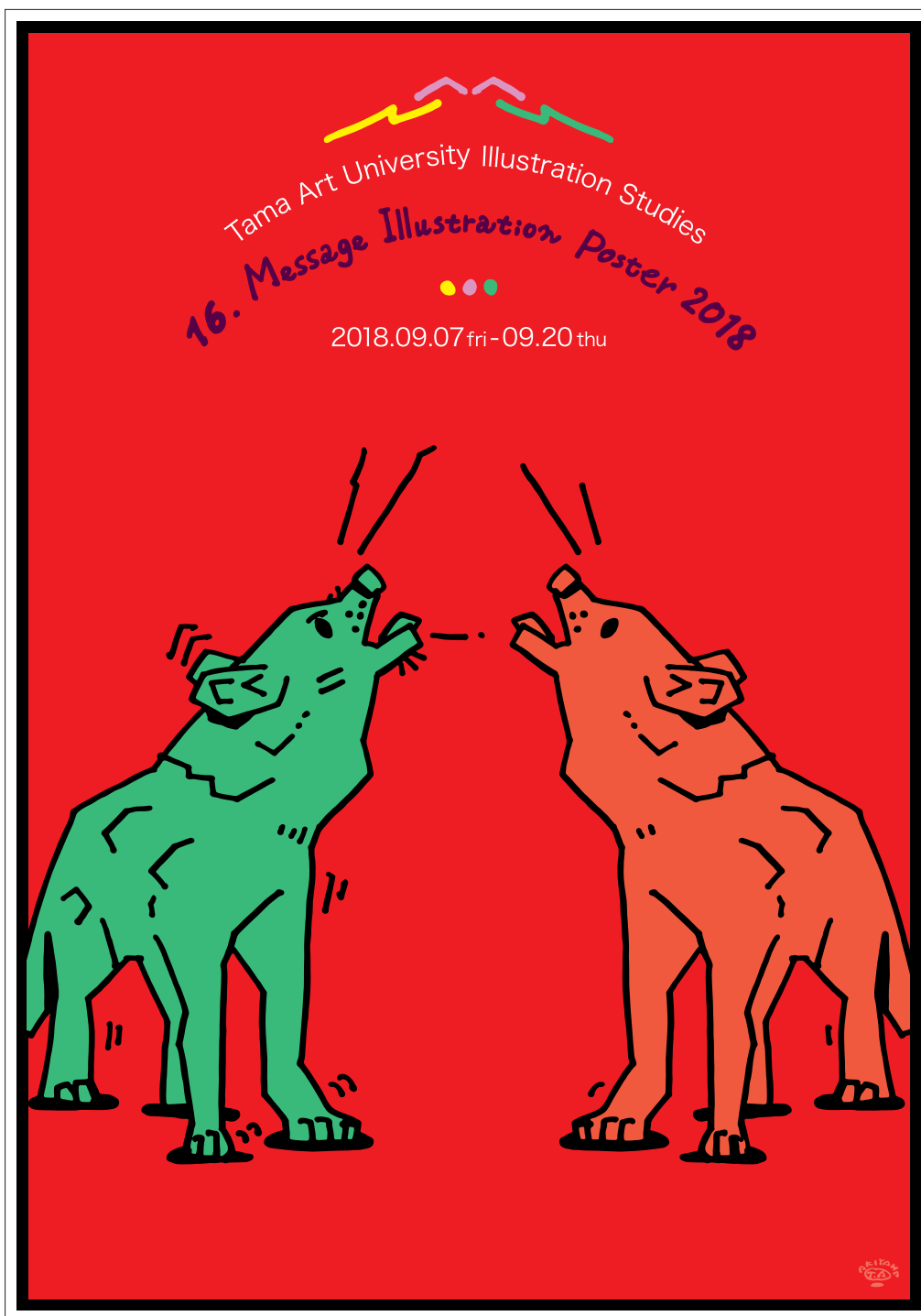
[Title] Earthquake in Hokkaido Iburi 2018 - Earthquake Japan
 [Size] 1030 × 728 mm (B1)
 [Technique] Offset printing
 [Date] 2018
 [Client] 地震ポスター支援プロジェクト
 [Category] Social, Education
 [Idea] このような災害ポスターには現場の臨場感を表すことが重要である。

[Comment] 2018年10月22日～11月14日の間、多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクト・イラストレーションポスター展を開催した。今年で15周年目を迎え、今までの研究を振り返る展覧会として多摩美術大学図書館ギャラリーにおいて作品総数103点を展示した。災害における認識の記録としてポスターは貴重な役割を担っており、このプロジェクトは地震災害を未然に防ぐ活動である。ポスターデザインは、本年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の厚真町の行方不明者夜間救助シーンを題材にした。県警からは機動隊員ら34人が自衛隊機で北海道入りし3人を救出したが、その後いずれも死亡が確認された。色彩は、ライトアップと暗闇の対比効果を強調した。



[Title] Earthquake in Hokkaido Iburi 2018 - Earthquake Japan
 [Size] 1030 × 728 mm (B1)
 [Technique] Offset printing
 [Date] 2018
 [Client] 地震ポスター支援プロジェクト
 [Category] Social, Education
 [Idea] この土砂崩れの様子は激しい地滑りの結果、空撮で見ると規則的な模様になっている。それをポスターに表した。

[Comment] 2018年10月22日～11月14日の間、多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクト・イラストレーションポスター展を開催した。今年で15周年目を迎え、今までの研究を振り返る展覧会として多摩美術大学図書館ギャラリーにおいて作品総数103点を展示した。災害における認識の記録としてポスターは貴重な役割を担っており、このプロジェクトは地震災害を未然に防ぐ活動である。ポスターデザインは本年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の土砂崩れの様子をモチーフとし、山の緑と土砂の茶褐色で表した。最大震度は7で北海道では初めて観測された。こうした現象が起きた要因について、火山灰が降り積もったもろい地質に強い揺れが加わったことが推測される。



[Title] 16. Message Illustration Poster 2018

[Size] 1030 × 728 mm (B1)

[Technique] Offset printing

[Date] 2018

[Client] 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ

[Category] Education

[Idea] ポスターによるメッセージの発信を犬が遠吠えてメッセージを送り合う姿に置き換えて表現した。

[Comment] 多摩美術大学グラフィックデザイン学科イラストレーションスタディーズでは、2018年9月7日～20日まで「16. メッセージイラストレーションポスター展」をデザイン棟 1F ギャラリーにて開催した。本年度出品者は3年生、4年生及び大学院博士前期・後期課程学生の作品、教員、助手、副手のポスターを展示し、その表現の可能性を探ろうとするものである。2000年にスタートし、今回で16回目を迎えた。同世代の表現を見ることにより、新たな表現世界を獲得することを目的としている。ポスターデザインは二頭の雄と雌の犬が遠吠えする姿を描いた。それはイラストレーション表現を互いに切磋琢磨している姿を象徴化している。



[Title] 16. Message Illustration Poster 2018

[Size] 1030 × 728 mm (B1)

[Technique] Offset printing

[Date] 2018

[Client] 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ

[Category] Education

[Idea] 歴史の中に特に優れた表現を見ることがある。イラストレーション研究では、それらを取り上げなければならないときがある。

[Comment] 多摩美術大学グラフィックデザイン学科イラストレーションスタディーズでは、2018年9月7日～20日まで「16. メッセージイラストレーションポスター展」をデザイン棟 1F ギャラリーにて開催した。本年度出品者は3年生、4年生及び大学院博士前期・後期課程学生の作品、教員、助手、副手のポスターを展示し、その表現の可能性を探ろうとするものである。2000年にスタートし、今回で16回目を迎えた。同世代の表現を見ることにより、新たな表現世界を獲得することを目的としている。ポスターデザインは秦始皇帝陵の兵馬俑をモチーフとし、その造形的魅力をイラストレーション研究のシンボルとして表現した。



[Title] Student Conference 2018
 [Size] 1030 × 728 mm (B1)
 [Technique] Offset printing
 [Date] 2018
 [Client] 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
 [Category] Education
 [Idea] まるでお互いに心を知り尽くした人間のように理解しあっている様子をデフォルメ表現を使い、イラストレーション化した。

[Comment] 2018年7月14日に多摩美術大学レクチャーホールCにて「発想の秘密③デフォルメ表現」というテーマでスチューデント会議が開催された。このスチューデント会議は、イラストレーションを研究する上で重要なキーワードを取り上げ、それについて意見交換したり、またはその成り立ちや意味から導き出された形（イラストレーション）について独自の見解を作り上げる会議だ。つまりそれらの思考を深めることを目的としている。ポスターデザインは犬をモチーフとした。まるでお互いに心を知り尽くした人間のように理解しあっている様子をデフォルメ表現を使い、イラストレーション化した。



[Title] ----- Student Conference 2018

[Size] ----- 1030 × 728 mm (B1)

[Technique] ----- Offset printing

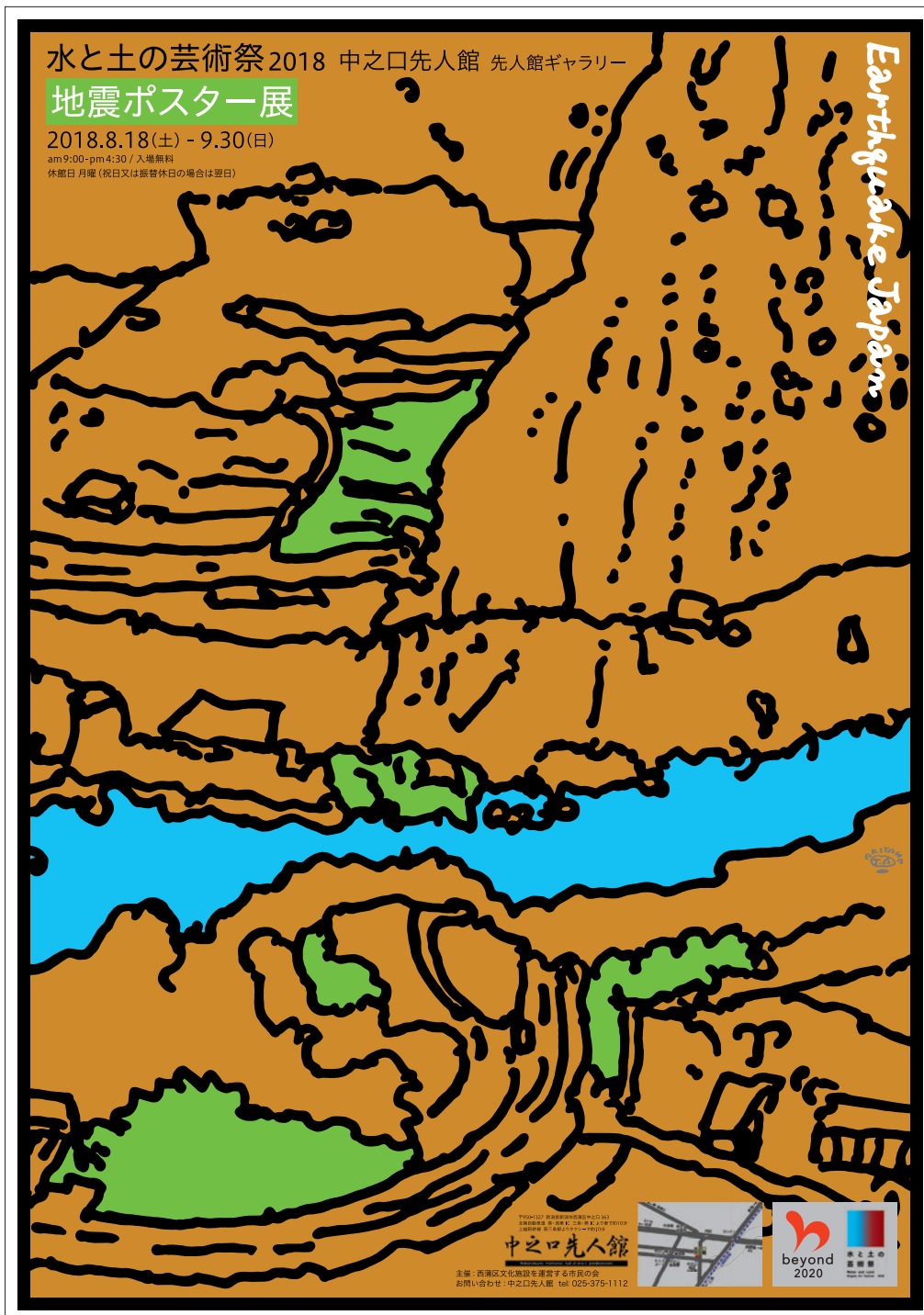
[Date] ----- 2018

[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ

[Category] ----- Education

[Idea] ----- 日本の古典の絵画表現から生まれた象徴的な形のデフォルメされた
独自性から導き出されたポスター表現。

[Comment] ----- 16年目を迎える多摩美術大学グラフィックデザイン学科イラストレーションスタ
ディーズ・スチューデント会議2018は「発想の秘密③デフォルメ表現」をテーマとして会議を開催
した。イラストレーション創作において「デフォルメ表現」は重要な表現手段であることは間違いない。
ゆえに、その成り立ちや意味から導き出された形(イラストレーション)について深い思考が必要なの
である。ポスターデザインとなる炎をモチーフにしたイラストレーションは、日本の古典の絵画表現か
ら生まれた象徴的な形でありデフォルメされた独自性がある。そこから導き出されたポスター表現が
生まれた。



[Title]----- 水と土の芸術祭2018「地震ポスター展」
 [Size]----- 1030 × 728 mm (B1)
 [Technique]----- Offset printing
 [Date]----- 2018
 [Client]----- 中之口先人館
 [Category]----- Culture
 [Idea]----- 地震による自然災害の発生のプロセスをヴィジュアル化した。

[Comment] ----- 新潟地震が発生した時、我が家のトラックで「水」を容器に入れて運ぼうとする父親の姿を鮮明に記憶している。それは1964年6月16日の新潟地震(M7.5)の記憶で、12歳の時だった。そして2004年10月23日夕方6時前に食事をしている際、新潟県中越地震(M7)が発生した。それらが「藝術を使い記録する「多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクト」の始まりで、15年目になった。この間、シンポジウムを開催したり国内外で展覧会などをすることにより、その意義と地震、災害などを深く研究することになった。今回の「水と土の芸術祭」では新たな展開が期待できる。それは「水と土」という命題から導き出された魅力的な「藝術と生活」を中之口先人館で共存できるからだ。



[Title] 秋山孝の神秘 4 - 「印刷すること」「手描きすること」展
 [Size] 1030 × 728 mm (B1)
 [Technique] Offset printing
 [Date] 2018
 [Client] 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)
 [Category] Culture
 [Idea] 大判印刷の始まりはドラマチックだった。その発見はグーテンベルクの活版印刷機の発明(1445年)があったからだ。

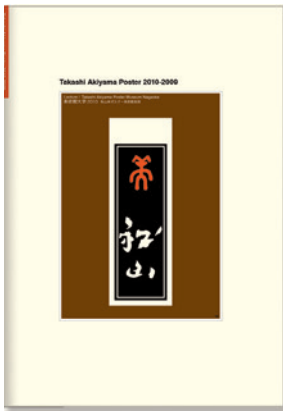
[Comment] 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) は、第 27 回企画展として秋山孝の神秘 4 「印刷すること」「手描きすること」展を 2018 年 5 月 12 日～9 月 16 日の期間開催した。秋山が何を考えて創作の手懸りとして作品を産み出すのか、その神秘を垣間見る。今回は 4 回目を迎え、「印刷すること」と「手描きすること」のこだわりとその神秘を解き明かしたいと考えた。長い人類の歴史を学ぶ事によって多様化した技術や表現方法が目の前に存在し、さらにそれらを選択する意義と意味を考えなければならない。ポスターデザインは、ヨースト・アマン「西洋職人づくし (1468 年)」の活版印刷機 (1445 年 グーテンベルク発明) からその時代の趣を描いた。



[Title] 自画像-2 / Dessin-8
 [Size] 1030 × 728 mm (B1)
 [Technique] Offset printing
 [Date] 2018
 [Client] 多摩美術大学デッサンプロジェクト
 [Category] Education
 [Idea] ポートレイトを描くには目の表情で全てが決まる。難しいものだ。

[Comment] ----- 多摩美術大学グラフィックデザイン学科1・2年生の基礎授業プログラム「デッサン」の課題作品発表展をGDプレゼンテーションルームにおいて開催した。今回で8回目を迎え、テーマは「自画像-2 / Dessin-8」だ。2018年4月10日～21日の間、「自画像」をテーマとした作品の展示を行った。自画像は単に自分の姿を映し出すだけでなく、自分の内面と対話することも重要で、自分の生命の証のようなものである。学生たちはこれらの課題に没頭し、基礎である課題から表現の価値を自ら獲得し、未来に向けての指針を見つけ出そうとしている。ポスターデザインはルネサンス後期の天才、ラファエロ23歳の自画像をモチーフに描いた。この若き才能の溢れる表情が見てとれるようデザインした。

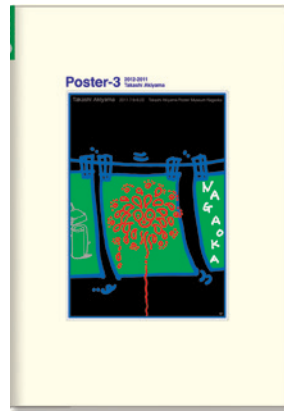
APM Takashi Akiyama Poster
2009 – 2019



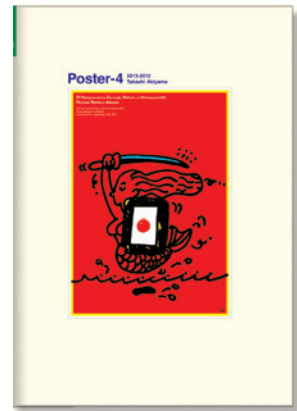
APM1 Poster-1
Takashi Akiyama Poster 2010–2009



APM3 Poster-2
Takashi Akiyama Poster 2011–2010



APM5 Poster-3
Takashi Akiyama Poster 2012–2011



APM8 Poster-4
Takashi Akiyama Poster 2013–2012



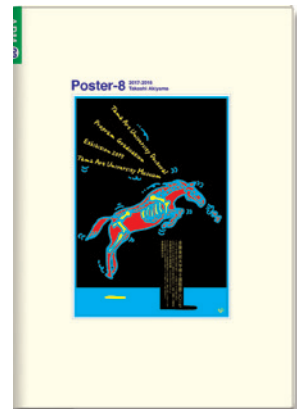
APM13 Poster-5
Takashi Akiyama Poster 2014–2013



APM17 Poster-6
Takashi Akiyama Poster 2015–2014



APM20 Poster-7
Takashi Akiyama Poster 2016–2015



APM23 Poster-8
Takashi Akiyama Poster 2017–2016



APM25 Poster-9
Takashi Akiyama Poster 2018–2017



APM27 Poster-10
Takashi Akiyama Poster 2019–2018





日本ブックデザイン賞 2015 The Japan Book Design Award 2015

日本ブックデザイン賞 2016 The Japan Book Design Award 2016

日本ブックデザイン賞 2017 The Japan Book Design Award 2017

日本ブックデザイン賞 2018 The Japan Book Design Award 2018



APM 第 41 回美術館大学「秋山孝の神秘『印刷すること』『手描きすること』について」/ 2018 年 5 月 12 日

秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) について

新潟県長岡市は、いくつもの難儀を背負ってきた町です。1868年(慶応4)の戊辰戦争、1945年(昭和20)第二次大戦において県内唯一焼夷弾投下による空襲被災を受け多くの人々がなくなり、また、2004年(平成16)新潟県中越地震においても大きな災害を受けました。その都度、力強く立ち上がり生き抜いてきました。

美術館の建物は、1920年(大正9)8月に長岡貯蓄銀行宮内支店として開設されましたが、1921年(大正10)長岡商業銀行と改名し、1925年(大正14)9月に新築され、1929年(昭和4)六十九銀行に合併し、1942年(昭和17)北越銀行宮内支店となり、その後、1970年(昭和45)に田上商店倉庫となりました。いつも、宮内・摂田屋地区の人々と共に歩んできました。その建物が度重なる地震などによって老朽化し、歴史的建造物として修復され、瀟洒な美術館(2010年、長岡市・都市景観賞受賞)に生まれ変わりました。

この美術館ができる経緯は、1999年「しなの川音楽祭」のイベントとして、新潟県立近代美術館ギャラリーにおいて「秋山孝の世界展」を3年連続開催したことから始まりました。その展示作品を中心に532点の作品が「秋山孝長岡コレクション」として長岡市のコレクションとなったのです。その後、2008年「秋山孝ポ

スター美術館長岡 (APM)」の案が地元宮内・摂田屋地区の高田清太郎氏らの発案とともに地元の多くの協力を得て実現に至りました。2009年7月11日、美術館サポーターズ倶楽部の支援のもとに市民が作り上げた美術館が誕生しました。

長岡は小林虎三郎の「米百俵の精神」にあるように、1868年(慶応4)の戊辰戦争に敗れた長岡藩において「どんな苦境にあっても教育をおろそかにできない」と主張し、国漢学校を開校しました。教育が「長岡を立て直す一番確かな道」と説いたのです。当美術館も、その精神を受け継いでいきたいと考えています。

秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) は、イラストレーション表現によるビジュアルコミュニケーションを軸にした作品の展示や研究をしており、とりわけポスターというメディアに重点をおいて展示・研究と教育をすることを目的としています。また、「美術館大学」という講演会を行ない、地元の皆様に貢献し町の発展に寄与したいと考えています。そして、長岡の「雪・山・川・味噌・醤油・酒・蔵」旧三国街道の宮内・摂田屋地域全体の魅力を再発見し、歴史ある醸造の街とモダンデザインの文化を紡ぎ合わせ、街全体を美術館と考え新たな街づくりの実現に貢献したいと願っています。



左上：秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) 外観 右上：秋山孝ポスター美術館長岡・蔵 外観 下：美術館展示風景 (パノラマ写真) 撮影：吉澤義孝

「秋山孝ポスター美術館長岡 本館 (旧長岡商業銀行宮内支店)」を含む建造物は、2016年8月1日、登録有形文化財 (建造物) に登録されました。



ポスター：大町駿介



ポスター：御法川哲郎

2019年「秋山孝ポスター美術館長岡」企画展・美術館大学のご案内

- 第29回企画展 APM創立10周年記念
「秋山孝ポスター展11」秋山孝の神秘5展 / 5月11日(土)～9月15日(日)
・第45回美術館大学 / 5月11日(土) pm 3:00～4:30
・第46回美術館大学 / 8月1日(木)
- 「日本ブックデザイン賞2019展」 / 10月5日(土)～10月27日(日)
・日本ブックデザイン賞2019授賞式 / 10月12日(土) pm 3:00～4:30
- 第30回企画展「メッセージイラストレーションポスター展11」 / 11月2日(土)～11月30日(土)
・第47回美術館大学 / 11月2日(土) pm 3:00～4:30

[特別企画展]

- ふなばしアンデルセン公園子ども美術館
「JBD2018『裸の王様』受賞・入選作品特別展示」 / 4月16日(火)～7月21日(日)
- 中之口先人館「日本ブックデザイン賞展」 / 8月10日(土)～9月15日(日)
- アオーレ長岡「日本ブックデザイン賞2019展」 / 10月11日(金)～10月17日(木)

APM(本館)とAPM・蔵(別館)をガイド付きでご案内致します。

開館日： 金、土、日曜日(事前予約制)
 開館期間： 2019年5月11日(土)～11月30日(土)
 見学時間： am11:00, pm1:00, pm3:00の1日3回
 (各回所要時間 約1時間)
 休館日： 月、火、水、木曜日
 冬期研究・準備休館期間： 2019年12月1日(日)～2020年3月31日(火)
 入館料： 無料

APM27
 Poster-10 2019-2018 Takashi Akiyama

発行日：2019年4月1日
 発行者：秋山孝
 発行所：秋山孝ポスター美術館長岡
 〒940-1106 新潟県長岡市宮内 2-10-8
 Tel, Fax：0258-39-1233
 E-mail：info@apm-nagaoka.com
 URL：http://apm-nagaoka.com

編集 / デザイン：秋山孝、橋村実里
 印刷所：東銀座印刷出版株式会社
 ※無断で複写、複製および使用を禁ず。

・中綴じ製本 / A4(天地297×左右210mm)
 ・表紙・本文：ミューマツト菊Y93.5(北越紀州製紙株式会社)

APM27
 Poster-10 2019-2018 Takashi Akiyama

Date of issue：2019.04.01
 Publisher：Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
 2-10-8 Miyauchi Nagaoka-city Niigata 940-1106 Japan
 Tel, Fax：0258-39-1233
 E-mail：info@apm-nagaoka.com
 URL：http://apm-nagaoka.com

Edit / Design：Takashi Akiyama, Misato Hashimura
 Printed in Higashi-Ginza Insatsu-Shuppan Inc.

© 2019 Takashi Akiyama, Published in Japan by Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka.

All right reserved. No part of this book may be reproduced in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying or recording, or by any information storage and system, without permission in writing from the publisher.

